

6年—Unit 3

単元名

He is famous. She is great.

人物紹介

1. 単元目標

- ・「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付き、自分や第三者について聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ・語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- I am (Ken). I [like / play] [the violin / baseball]. I [have / want] a new [recorder / ball]. I eat (spaghetti). I study (math). I can [swim / cook / skate / ski / sing / dance]. I can (play baseball well). Who is this? [He / She] is [famous / great].
- famous, nut, old, 身の回りの物 (racket), jungle
[既出] he, she, 動物, 飲食物, スポーツ, 身の回りの物, 教科, 動作, 状態・気持ち

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 ([], ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆自分や友達について、好きなものやこと、欲しいもの、できることなどの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりできる。</p> <p>○Who am I? クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の紹介を聞いて、それが学級の中の誰かを考えて、答える。 ・推測した友達について、その児童や指導者とやり取りをする。 <p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッシング・ゲームをする。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、好きなものやこと、欲しいもの、できることなど、自分の特徴などを伝え合う。相手を替えて何度も繰り返し伝え合う。 <p>○単元の終末の活動を知る。</p>	◎自分や友達の好きなものやこと、欲しいもの、できることなどの特徴を話したり聞いたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
2	<p>◆自分や友達について、日頃していることや趣味などの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりできる。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.18, 19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p.18, 19 を見て、英語で言えるものや読めるものを発表する。 ・デジタル教材で音声聞いて、それが誰のことを考えて、誌面□に番号を記入する。 ・4線に丁寧に文字を書いて、ポスターを完成させる。 <p>【Let's Play 1】 p.18, 19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポインティング・ゲームをする。 	

	<p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッシング・ゲームをする。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり，日頃していることや趣味など，自分の特徴を話す。 <p>○Sounds and Letters (h)</p>	<p>◎自分や友達について，日頃していることや趣味などの特徴を話したり，聞いて内容を理解したりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆動作を表す語を読んで分かり，好きなもの，欲しいもの，日頃することの表現について，「主語＋動詞＋目的語」の語順に気付く。</p> <p>○Small Talk : 好きなキャラクター</p> <p>【Let's Listen 1】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて，それがどんなキャラクターかを考えて，誌面に答えを記入する。 <p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッシング・ゲームをする。 <p>【Let's Watch and Think 2】 p.22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p.22 の点線囲みにどのような言葉を入れるかを考え，発表する。次に，ペアになり 4 文を言い合う。 ・デジタル教材で音声を聞いて，内容に合うようにペアで点線囲みにカードを置く。 ・ペアで，誌面 p.22 の点線囲みにカードを自由に置いて，意味が通る文をできるだけたくさん作る。 	<p>◎動作を表す語を読んで分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎表現について，「主語＋動詞＋目的語」の語順に気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p>
4	<p>◆好きなものやこと，欲しいもの，日頃することの表現について，語順が分かり，単語と単語の間にスペースを置き，語順を意識して，文を書き写すことができる。</p> <p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワード・ゲームをする。 <p>【Let's Watch and Think 3】 p.23</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の音声を聞いて分かったことを発表する。 ・次に，ワークシートの点線囲みに児童用カードを置いて，聞き取った文を再現する。 ・代表児童がデジタル教材の画面を操作し，文を作る。全員でそれを読む。 <p>○文を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで，児童用カード，p.20, 21 の絵カードを並べて，できるだけたくさん文を作る。 ・作った文の内 1 つをワークシートに書き写す。その際に単語と単語の間にスペースを置き，語順を意識して書く。 <p>○Sounds and Letters (j)</p>	<p>◎絵カードを並べて，好きなものや，欲しいもの，日頃することについての文を作っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎単語と単語の間にスペースを置き，語順を意識して，文を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆ある人物の説明を聞いて具体的な情報を聞き取るとともに，単語と単語の間にスペースを置き，語順を意識して，文を書き写すことができる。</p> <p>○Small Talk : 好きな有名人</p> <p>【Let's Listen 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントを聞いてそれが誰かを考え，表に答えを書く。 	<p>◎ある人物についての説明を聞いて理解し，聞き取ったことを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード〉</p>

	<p>○文を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなものやこと，できることなど特徴を考え，前活動と同じ要領で児童用カードを並べて，文を作る。 ・できたら，ペアで読み合う。 ・作った文を，ワークシートに書き写す。その際に単語と単語の間にスペースを置き，語順を意識して書く。 	<p>点検</p> <p>◎単語と単語の間にスペースを置き，語順を意識して，文を書き写している。</p> <p>〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆ある人物の説明を聞いて具体的な情報を聞き取ることができるとともに，ある人物になりきってその人物を説明したり，説明を聞いて理解したりする。</p> <p>【Let's Listen 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントを聞いてそれが誰かを考え，表に答えを書く。 <p>【Activity】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのワークシートに書いた文や誌面の英文を参考に Who is this? Quiz を作る。 <p>○Sounds and Letters (k)</p>	<p>◎ある人物についての説明を聞いて理解し，聞き取ったことを書いている。</p> <p>〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎ある人物になりきってその人物について説明したり，説明を聞いて理解したりする。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆ある人物について伝え合い，単語と単語の間にスペースを置き，語順を意識して，例を参考に紹介文を書く。</p> <p>【Activity】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのワークシートに書いた文や誌面の英文を参考に Who is this? Quiz を完成させる。 ・クイズのキーワードやイラストなどをメモする。 ・ペアでクイズを出し合い，相手からアドバイスをもらい，自分のクイズに改良を加える。 ・クイズの文を，例を参考に書く。 	<p>◎ある人物について伝え合っている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎ある人物になりきってその人を説明したり，説明を聞いて理解したりしている〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎単語と単語の間にスペースを置き，語順を意識して，例を参考に紹介文を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら，ある人物になりきって，第3者について伝え合おうとする。</p> <p>【Activity】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Who is this? Quiz の準備をする。 ・グループで1人が作成したクイズを言い，ほかの児童が聞いてそれが誰かを考えて答える。 ・代表児童数名が全員の前でクイズを出す。 <p>【STORY TIME】 p.25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材でライム(押韻)の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。 	<p>◎他者に配慮しながら，ある人物になりきって，その特徴やできることなどを話し，その人物について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

6年 Unit 3-Lesson 1 He is famous. She is great. 人物紹介 1/8時間

目 標 自分や友達について、好きなものやこと、欲しいもの、できることなどの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりできる。

準 備 教師用カード(単語カード:食べ物 12種類), 児童用テキスト, Unit 1 で児童が作成した自己紹介シート, デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
15分	<p>○Who am I? クイズ</p> <p>・指導者の紹介を聞いて、それが学級の中の誰かを考えて、答える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>紹介例</p> <p>Hello, I'm</p> <p>I like cats.</p> <p>I have a cat.</p> <p>It's cute.</p> <p>I like music, too.</p> <p>I can play the piano.</p> <p>My birthday is August 23rd.</p> </div> <p>・推測した友達について、その児童や指導者とやり取りをする。</p>	<p>・Unit 1 で児童が作成した自己紹介シートから、ある児童になりきって紹介をし、それが誰のことを尋ねる。数名の児童の紹介を行い、紹介した内容について児童とやり取りをする。既習の語彙や表現を繰り返し聞かせることがねらいである。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>やり取りの例</p> <p>T : Who am I? I like cats. I can play the piano.</p> <p>S1: S2 <i>san</i>?</p> <p>T : Really? OK, let's ask S2 <i>san</i>. Do you have ...?</p> <p>Ss: Do you have a cat?</p> <p>S2: Yes, I do.</p> <p>T : One more question. Can ...?</p> <p>Ss: Can you play the piano?</p> <p>S2: No, I can't.</p> <p>T : Sorry, not S2 <i>san</i>. Who am I?</p> </div>	Unit 1 で児童が作成した自己紹介シート
10分	<p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <p>・ミッシング・ゲームをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ミッシング・ゲームの進め方</p> <p>・黒板に食べ物の教師用カード 12 枚を掲示し、その言い方を確認する。児童に目を閉じさせ、その間に単語カードを 1～4 枚隠す。児童に目を開けさせ、なくなったカードが何かを考えて発表させる。隠す数は 1 枚から始め 4 枚程度 (実態に応じて) までとする。</p> </div>	<p>・誌面 p.20 にある絵の単語カード 12 種類で行う。 apples, bananas, carrots, nuts, peaches, cake, spaghetti, pizza, <i>sushi</i>, ice cream, chocolate, fish</p>	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード(単語カード:食べ物 12種類)
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>※単語カードは、デジタル教材→両サイド▶ボタン→教材どうぐばこ→ツール絵辞書→Word List カテゴリーから単語を選ぶ→Card Property 英語 ON, 5種類のカードの中で、絵が1番小さいカードを作成するとよい。</p> </div>	

13分	<p>○Let's Talk</p> <p>・ペアになり, 好きなものやこと, 欲しいもの, できることなど, 自分の特徴などを伝え合う。相手を替えて何度も繰り返し伝え合う。</p> <p>自己紹介の例 Hello. I like badminton. I can play badminton well. I sometimes play badminton with my friends. I want a new racket. I'm good at sports.</p>	<p>・指導者がまず例を示した上で, Unit 1 で行った自己紹介を思い出し, 自身について話すよう言う。</p> <p>・1人目のペアと話した後, 分からなかった表現等を出させ, ほかの児童に既習表現などを使ってどのように言ったらよいかを考えさせる。全員でその表現を共有してから, 相手を替えて, 再度自分の特徴などを話させる。相手を替えて数回繰り返させる。</p> <p>◎自分や友達の好きなものやこと, 欲しいもの, できることなどの特徴を話したり聞いたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
2分	<p>○単元の終末の活動を知る。</p> <p>・単元の終末では, ある人物になりきって, その特徴やできることなどを話したり書いたりして, クイズを作って出題するチャレンジ Who is this? Quiz をすることを確認する。</p>	<p>・指導者は, 自身が作成した Who is this? Quiz をし, 単元終末の活動への見通しや意欲をもてるようにする。クイズのヒントのうち, I like / play / have / want ~. 等の文は, 口頭で言わず, 紙に書いて示す。</p>	
3分	<p>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 3-Lesson 2 He is famous. She is great. 人物紹介 2/8時間

目 標 自分や友達について、日頃していることや趣味などの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりできる。

準 備 教師用カード（単語カード8種類）、児童用テキスト、ワークシート（Unit 3-2）、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
15分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.18, 19</p> <p>・誌面 p.18, 19 を見て、英語で言えるものや読めるものを発表する。</p> <p>予想される児童の発言：violin, fish, carrot(s), piano, recorder, banana(s), drum(s), rabbit, cat, music, happy など。</p> <p>・デジタル教材で音声を聞いて、それが誰のことかを考えて、誌面□に番号を記入する。</p>	<p>・視聴する前に、誌面を見て分かるもので、英語で言ったり読めたりする語があれば発表させる。</p> <p>・この誌面は、Happy Music Quartet という4人バンドの Happy Music Concert のポスターであり、まず、4人それぞれの自己紹介が書かれていることを説明した上で、映像資料 Q パターン1を視聴させ、1問ずつ回答させる。</p> <p>・全員が回答を書いたのを確かめ、映像資料 Q パターン2で回答を確かめさせる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>No.1: Hi, I'm Carrotina. C-A-R-R-O-T-I-N-A, Carrotina. Nice to meet you. I play the recorder. My recorder is very old. I want a new recorder. I like carrots. Do you like carrots? I want nice carrots.</p> <p>No.2: Hello, my name is Bananat. B-A-N-A-N-A-T, Bananat. Nice to meet you. I play the piano. I like playing the piano. I want a nice piano. What fruit do you like? I like bananas. Do you like bananas? I want sweet bananas.</p> <p>No.3: Hello, I'm Fishelle. F-I-S-H-E-L-L-E, Fishelle. Nice to meet you. Look. This is my violin. I play the violin. I want a good violin and I want fresh fish. I like fish very much. Do you like fish?</p> <p>No.4: Hello, I'm Nuttony. N-U-T-T-O-N-Y, Nuttony. I play the drum. I'm a good drummer. I want a new drum. Do you like nuts? I like nuts. I want delicious nuts.</p>		
	・4線に丁寧に文字を書いて、ポスターを完成させる。	・再度視聴させ、それぞれのキャラクターの名前の文字を聞き取って、4線に書かせる。	
10分	<p>【Let's Play 1】 p.18, 19</p> <p>・ポインティング・ゲームをする。</p> <p>指導者が言う語の絵を、誌面から選んでさし示す。前半はペアで行い、後半は個人で行う。</p> <p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <p>・ミッシング・ゲームをする。</p>	<p>・誌面 p.18, 19 にある英文を言う。デジタル教材で音声を聞かせてもよい。音声で聞いたり言ったりしている文に見慣れることがねらいである。</p> <p>・前時と同じ要領で、誌面 p.20, 21 にある絵カードの単語8種類で行う。扱う単語：dog, cat, ball, bat, racket, book, computer, watch</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード（単語カード：8種類）
	<p>※単語カードは、デジタル教材から「教材どうぐばこ」→「ツール」→「絵辞書」→「Word Index カテゴリー」と進み、単語を選択後、Card Property 英語 ON にて5種類のカードの中で、絵が1番小さいカードを作成するとよい。</p>		
10分	<p>○Let's Talk</p> <p>・ペアになり、好きなものやこと、欲しいもの、できること、日頃していることや趣味など、自分の特徴を</p>	・前時と同じ要領で、欲しいものや持っているもの、自分の特徴などを話す。まず、指導者が例を示し、参考にさせる。	

	<p>話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を替えて何度も繰り返す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1人目のペアと話した後、分からなかった表現等を出させ、ほかの児童に既習表現などを使ってどのように言ったらよいかを考えさせる。全員でその表現を共有してから、相手を替えて、再度自分の特徴などを話させる。相手を替えて数回繰り返させる。 ◎自分や友達について、日頃していることや趣味などの特徴を話したり、聞いて内容を理解したりしている。 <p><行動観察・振り返りカード点検></p>	
	<p>例</p> <p>Hello. I like <i>natto</i>. Do you like it? I eat <i>natto</i> every day.</p> <p>It's delicious and healthy.</p> <p>I usually drink <i>tonyu</i> for breakfast. Do you drink it?</p> <p>I like <i>tonyu</i>. It's delicious and healthy, too.</p>		
5分	<p>OSounds and Letters (h)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /h/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの4線の上に h の文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(時間に余裕があれば) ジングルを聞かせる。(※1) <p>T: Listen to the jingle.</p> <p>Look at the pictures on the worksheet.</p> <p>Please repeat after the jingle.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サウンド・テニス(※2)をすることを告げる。 <p>T: Let's play Sound Tennis.</p> <p>Think about any words starting with /h/.</p> <p>Now, say the words within five seconds.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり、制限時間を短くしていったりなどするとよい。 ・ワークシートの4線の上に h の文字を書くよう指示する。 <p>T: Please write the letter 'h'.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 3-2)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

<Sounds and Letters について>

- ※1 ジングルは、5年生は新教材の誌面及びデジタル教材で扱われており、6年生は新教材のデジタル教材のみに収録されている。
- ※2 サウンド・テニスとは、学習している音(ここでは/h/)への気付きを高め、既習単語を復習することを目的とした活動である。

サウンド・テニスの進め方

- ① 2つのグループに分かれる。児童の実態に応じて、また、この活動に取り組み始めて間もない頃は、指導者対児童で行うことも考えられる。
- ② 学習している音(ここでは/h/)から始まる単語を考える。
- ③ 学習している音(/h/)から始まる単語を制限時間内に言うことができるように競う。(Five, four, three, two, one, time is up! などと指でカウントしながら時間が経つことを伝えるとよい。)
- ④ 制限時間内に単語が言えないグループが負けとなる。

6年 Unit 3-Lesson 3 He is famous. She is great. 人物紹介 3/8 時間
目 標 動作を表す語を読んで分かり, 好きなもの, 欲しいもの, 日頃することの表現について, 「主語+動詞+目的語」の語順に気付く。
準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード(単語カード:動作6種類), 児童用カード(本単元巻末絵カードを印刷して多数作成), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
7分	<p>・挨拶をする。</p> <p>○Small Talk : 好きなキャラクター S1: I like Doraemon. S2: You like Doraemon. Why? S1: He is kind and great. He can fly. His miracle pocket is nice. Do you like Doraemon? S2: Yes, I do. I like Minnie Mouse, too. S1: I see. Why? S2: She is cute. She can dance and sing. ...</p>	<p>・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・本単元の題材との関連を意図し, 好きなキャラクターについて話させる。</p> <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p. 84, 85 を参照。</p>	
10分	<p>【Let's Listen 1】 p.24</p> <p>・音声聞いて, それがどんなキャラクターかを考えて, 誌面に答えを記入する。</p>	<p>・あるキャラクターについての Who am I?クイズに答えるよう言う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>No.1: Who am I? I have a bell. I like <i>dorayaki</i>. I can fly. I have a miracle pocket. I'm a robot. (ドラえもん)</p> <p>No.2: Who am I? I have big ears. I have red pants. I can dance and sing well. I'm a mouse. (ミッキーマウス)</p> <p>No.3: Who am I? I have a brown cape. I have yellow shoes and gloves. I can fly. I'm a hero. (アンパンマン)</p> </div> <p>・単なる聞き取りの練習にならないように, 聞き取ったことや, 答えのキャラクターについて児童とやり取りをする。このことが単元終末のチャレンジ Who is this? Quizにつながる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>やり取りの例</p> <p>T : Do you like Doraemon? Ss: Yes, I do. T : What character do you like in Doraemon animation? S1: I like Dorami <i>chan</i>. T : Why? S1: She is cute. T : I see. How about Shizuka <i>chan</i>? S2: She is kind. I like Shizuka <i>chan</i>.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>【Let's Play 3】 p.20, 21</p> <p>・ミッシング・ゲームをする。</p>	<p>・前時と同じ要領で, 動作を表す語彙 6 種類で行う。</p> <p>扱う語彙 : like, want, have, eat, play, study</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>※単語カードは, デジタル教材から「教材どうぐばこ」→「ツール」→「絵辞書」→「Word Index カテゴリー」と進み, 単語を選択後, Card Property 英語 ON にて 5 種類のカードの中で, 絵が 1 番小さいカードを作成するとよい。</p> </div>	教師用カード (単語カード:動作6種類)

20分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p.22 の点線囲みにどのような言葉を入れるかを考え、発表する。次に、ペアになり4文を言い合う。 ・デジタル教材で音声を聞いて、内容に合うようにペアで点線囲みにカードを置く。 ・ペアで、誌面 p.22 の点線囲みにカードを自由に置いて、意味が通る文をできるだけたくさん作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p.22 を見せ、自分なら点線囲みにどのような言葉を入れるかを考えさせた上で、発表させる。 ・デジタル教材で音声を聞かせ、児童用カードを点線囲みに置かせる。 ※児童用カードは、本単元指導案の巻末をコピーして切り離したものを使う。 ・どのような文ができたかを発表させる。発表させた文を聞いて、ほかの児童に同じようにカードを置かせ、その文を言わせる。 	児童用カード (本単元巻末絵カードを印刷して多数作成)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hi, I'm Fishelle. I eat fish. It's yummy. I like fish. I like chocolate, too. I want fish and I want a soccer ball. I study math. It's fun. ・ Hi, I'm Carrotina. I like carrots. I eat carrots. I eat apples, too. I want carrots. I want a watch. I like music. I study science. ・ Hello, I'm Bananat. I want bananas. I eat bananas. I like bananas. I like pizza, too. I study Japanese. ・ Hi, my name is Nuttony. I study English. I like English. I want a computer. I eat nuts and honey. <p>We are good band members!</p>	<p>◎動作を表す語を読んで分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎表現について、「主語＋動詞＋目的語」の語順に気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p>	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 3-Lesson 4 He is famous. She is great. 人物紹介 4/8時間
目 標 好きなものやこと, 欲しいもの, 日頃することの表現について, 語順が分かり, 単語と単語の間にスペースを置き, 語順を意識して, 文を書き写すことができる。
準 備 児童用テキスト, 児童用カード(本単元巻末絵カードを印刷して多数作成), ワークシート(Unit 3-3, 4線), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
5分	【Let's Play 3】 p.20, 21 ・キーワード・ゲームをする。	・誌面 p.20,21 にある語を言う。デジタル教材で音声を聞かせてもよい。	デジタル教材
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> キーワード・ゲームの進め方 ・指導者は語を言い, 児童は繰り返して言う。あらかじめ決めておいたキーワードを指導者が行ったら, 児童は繰り返さず, 2人の間においてある消しゴムを取る。早く取った方が勝ち。 </div>		
8分	【Let's Watch and Think 3】 p.23 ・デジタル教材の音声を聞いて分かったことを発表する。 ・次に, ワークシートの点線囲みに児童用カードを置いて, 聞き取った文を再現する。 ・代表児童がデジタル教材の画面を操作し, 文を作る。みんなでそれを読む。	・デジタル教材「Q前半」を視聴させ, 登場人物の自己紹介を聞かせ, 分かったことを発表させる。 ・次に, デジタル教材「Q後半」を視聴させる。 ・デジタル教材「A」で答えを確認する。 ・デジタル教材の画面を見せ, 画面にある絵カードを使って, 音声の話した以外にどんな文が作ることができるかを尋ねる。	デジタル教材 児童用テキスト
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Hello. I'm Fishelle. I play the violin. Look. My violin is old. I want a new violin. I sometimes eat fish. I like fish very much. Fish is delicious. I usually eat cat food. I like cat food, too. I want to eat fish every day. I want fresh fish.</p> <p>I play the violin. My violin is old. I want a new violin. I eat fish. I like fish. I want fresh fish.</p> </div>		
22分	○文を作ろう。 ・ペアで, カードを並べて, できるだけたくさん文を作る。 ・絵カードを並べて作成した文の内1つを選んで, ワークシート(4線)に書き写す。その際には, 単語と単語の間にスペースを置き, 語順を意識して書き写す。	・児童用カードを多数作成して, ペアに配布する。 ・できた文を発表させる。発表させた文のいくつかを黒板に教師用カードで掲示し, 全員で読ませる。 ◎絵カードを並べて, 好きなものや, 欲しいもの, 日頃することについての文を作っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎単語と単語の間にスペースを置き, 語順を意識して, 文を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	児童用カード(本単元巻末絵カードを印刷して多数作成) ワークシート(4線)
5分	○Sounds and Letters (j) ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある/dʒ/で始まる単語を見て, 発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上にjの文字を書く。	・(時間に余裕があれば) ジングルを聞かせる。 T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures in the textbook. Repeat after the jingle. ・サウンド・テニスをするを告げる。 T: Let's play Sound Tennis. Think any words starting with / dʒ/. Now, say the words within five seconds. ・まず, 指導者と児童全員で行い, 児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり, 制限時間を短くしていったりするなどするとよい。 ・ワークシートの4線上にjの文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter j.	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 3-3)
3分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年 Unit 3-Lesson 5 He is famous. She is great. 人物紹介 5/8時間

目 標 ある人物の説明を聞いて具体的な情報を聞き取るとともに、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写すことができる。

準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート(4線)、教師用カード(本単元巻末絵カードを印刷して多数作成) 児童用カード(本単元巻末絵カードを印刷して多数作成)、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>OSmall Talk : 好きな有名人 S1: I like Hanyu Yuzuru. S2: Why? S1: I like skating. He can skate very well. He can jump high. He can turn well. He is cool. S2: He is nice. I like Suzuki Ryohei. S1: Why? S2: He is cool. He can speak English well. He is Saigo in the TV program. I like Saigo Takamori. Do you like Suzuki Ryohei? S1: Yes, I do. He is cool.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・本単元の題材との関連を意図し、好きな有名人について話させる。 <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p. 84, 85 を参照。</p>	
10分	<p>【Let's Listen 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントを聞いてそれが誰かを考え、表に答えを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>No.1: I have big ears. I have a red ribbon and yellow shoes. I can dance and sing well. I have a good friend. He can dance and sing well, too. He is famous and popular. He is nice to me. Who am I? Who is he?</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・3問のうち、第1問のみの音声数を数回聞かせ、それが誰かを考えて誌面表に記入させる。聞かせる前に、音声では2人のキャラクターが紹介されることを伝える。 ・答え合わせの際には、どのような紹介文があったかを発表させる。このことが、単元終末の Who is this? Quiz につながる。 <p>◎ある人物についての説明を聞いて理解し、聞き取ったことを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
22分	<p>○文を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなものやこと、できることなど特徴を考え、前活動と同じ要領で児童用カードを並べて、文を作る。 ・できたら、ペアで読み合う。 ・作った文を、ワークシート(4線)に書き写す。その際に単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's Listen や、誌面の英文を参考に自分の好きなものやこと、できることなど特徴を考えて、児童用カードで文を作るよう告げる。 ・できた文を発表させる。発表させた文のいくつかを黒板に教師用カードで掲示し、全員で読ませる。 ・個別支援をする。 ・ワークシートに文を書き写させる際に、単語と単語の間にスペースを置くよう、どのような語の順になっているかを考えながら書くよう促す。 <p>◎単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、文を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	児童用カード 教師用カード ワークシート(4線)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 3—Lesson 6 He is famous. She is great. 人物紹介 6/8時間
目 標 ある人物の説明を聞いて具体的な情報を聞き取ることができるとともに、ある人物になりきってその人物を説明したり、説明を聞いて理解したりする。
準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 3-1, 3-4, これまで書いたもの, 4線), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
10分	【Let's Listen 2】 p.24 ・ヒントを聞いてそれが誰かを考え、表に答えを書く。	・前時に触れなかった第2問及び第3問の音声を数回聞かせ、それが誰かを考えて誌面表に記入させる。聞かせる前に、音声では2人のキャラクターが紹介されることを伝える。 ・答え合わせの際には、どのような紹介文があったかを発表させる。このことが、単元終末の Who is this? Quiz につながる。	デジタル教材 児童用テキスト
	No.2: I always have a white cap on my head. I always have a white apron. I can bake bread. I have a good friend. He can fly. He is great. He is a hero. Who am I? Who is he? No.3: I like playing cat's cradle. I'm good at playing cat's cradle. But I'm not good at sports. I have a good friend. He can fly. He is famous and popular. He is very nice to me. Who am I? Who is he?		
		◎ある人物についての説明を聞いて理解し、聞き取ったことを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
25分	【Activity】 p.24 ・ある人物について Who is this? Quiz を作る。 ・これまでワークシートに書いた文や誌面の英文を参考に、その人になったつもりで、好きなものや欲しいもの、できることや日頃していることを文にする。その際、前時の要領で児童用カードを並べて、文を作ってもよい。 ・クイズのキーワードやイラストをワークシート (Unit 3-1) にメモをしてもよい。	・これまでに聞いたり言ったりしてきた文やワークシートに書いた文を参考に、ある人物について Who is this? Quiz を作るよう言う。ヒントの文は、その人になりきって作らせる。 ・個別支援をする。 ◎ある人物になりきってその人物について説明したり、説明を聞いて理解したりする。〈行動観察・振り返りカード点検〉	ワークシート (これまで書いたもの, Unit 3-1, 4線)
5分	○Sounds and Letters (k) ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある/k/で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上にkの文字を書く。	・(時間に余裕があれば)ジングルを1通り聞かせる。 T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures on the worksheet. Repeat after the jingle. ・サウンド・テニスをすることを告げる。 T: Let's play Sound Tennis. Think any words starting with /k/. Now, say the words within five seconds. ・まず、指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり、制限時間を短くしたりなどとよい。 ・ワークシートの4線上にkの文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter 'k'.	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 3-4)
3分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年 Unit 3-Lesson 7 He is famous. She is great. 人物紹介 7/8時間

目 標 ある人物について伝え合い、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、例を参考に紹介文を書く。

準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 3-1, これまで書いたもの, 4線), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
40分	<p>【Activity】 p.24</p> <p>・前時の続きで、これまでのワークシートに書いた文や誌面の英文を参考に Who is this? Quiz を完成させる。</p> <p>・ペアやグループで Who is this? Quiz を出し合い、相手からアドバイスをもらい、自分のクイズに改良を加える。</p> <p>・クイズのヒントのうち、I like / have / play / want / eat ~. の表現の文は、児童用テキスト p.22 の誌面やこれまでワークシートに書いたものを参考に、ワークシート (4線) に書き写す。</p>	<p>・前時の続きで、これまでに聞いたり言ったりしてきた文やワークシートに書いた文を参考に、ある人物について Who is this? Quiz を完成させる。ヒントの文は、自身がその人になりきって作らせる。</p> <p>・この活動は、ヒントの一部を無理なく書かせることにつなげるためのものである。音声で十分に言わせたり聞かせたりしておくことが大切である。</p> <p>・できたら、ペアでクイズを出し合わせる。</p> <p>・個別支援をする。</p> <p>◎ある人物について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎ある人物になりきってその人を説明したり、説明を聞いて理解したりしている〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>・クイズのヒントのうち、I like / have / play / want / eat ~. の表現の文は、児童用テキスト p.22 の誌面を参考に、ワークシート (4線) に書き写す。これは、次時「チャレンジ Who is this? Quiz」で使用する。</p> <p>◎単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して、例を参考に紹介文を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (これまで書いたもの, Unit 3-1, 4線) 児童用テキスト
3分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年 Unit 3—Lesson 8 He is famous. She is great. 人物紹介 8/8時間

目 標 他者に配慮しながら、ある人物になりきって、第3者について伝え合おうとする。

準 備 ワークシート (Unit 3-1, 4線), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時の流れを児童と確認する。	
30分	<p>【Activity】 p.24</p> <p>・「チャレンジ Who is this? Quiz」をする。</p> <p>・前時とは違うメンバーでグループになり、1人が作成したクイズを出題し、ほかの児童がそれを聞いてそれが誰かを考えて答える。ただし、その際、例に示すように下線の文は言わずに、前時にワークシート(4線)に書いたものを示すようにする。下線の文は、この単元で語順の気付きで扱った文である。</p>	<p>・前時に作成したクイズのヒントを確かめたり、書いたヒントを見直したりして、「チャレンジ Who is this? Quiz」をする。</p> <p>・「チャレンジ Who is this? Quiz」は、本単元での目標である語順への気付きを生かした活動として行う。本単元では、児童がこれまでに音声で十分に慣れ親しんできた表現を視覚化することで語順に気付かせるようにした。そこで、これまでに何度も行ってきた Who is this?クイズをあえて音声ではなく、読んだり書いたりすることで行うことで、語順への気付きをより確かなものにする。ただし、全文を読んだり書いたりするクイズにすることは児童が負担感を感じることも考えられるため、本単元で語順への気付きとして扱った文のみ紙に書いて表示するのみとする。児童の実態に応じて、全文紙に書いて表示することも考えられる。</p> <p>・グループ内で、クイズを出したり答えたりするよう言う。クイズの後、その人物をどう思うかについてやり取りをするよう言う。</p> <p>◎他者に配慮しながら、ある人物になりきって、その特徴やできることなどを話し、その人物について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 3-1, 4線)
	<p>クイズの例</p> <p>I'm from Ehime. <u>I can play soccer well.</u> I'm a professional soccer player. <u>I can speak Italian.</u> (Nagatomo Yuto)</p> <p>I'm from Hokkaido. I can ski well. I can jump high and long. <u>I have many medals.</u> (Takanashi Sara)</p> <p>I'm a teacher. I'm from Aomori. <u>I can play rugby.</u> I can cook well. <u>I like music.</u> (○○ sensei)</p>	<p>やり取りの例</p> <p>S1: It's ○○ sensei. S2: That's right. S1: Do you like ○○ sensei? S2: Yes, I do. S1: Why? S2: He is kind. He is a nice teacher.</p>	
	<p>・クイズに答え終わったら、出題者と回答者で、その人物について簡単なやり取りをする。</p> <p>・代表児童数名が全員の前でクイズを出す。</p>	<p>・代表児童数名に全員の前でクイズを出させる。</p>	

10分	<p>【STORY TIME】 p.25</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材でライム(押韻)の単語とそれらが含まれる文を2~3回聞く。 音声の後に続いて言う。 ライム(押韻)している単語だけを読み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 本単元で学習した表現が含まれている文を読むようにし、ライム(押韻)を通して子音の復習と母音への気付きを高める。 ここで取り扱うライム(押韻)は /-ʌn/。 <p>T: Listen to the rhyme and repeat. Then repeat the rhyming words.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>I like to watch rugby. It's fun. I like Kenji. He can run fast. He can jump high. He can play in the sun and the rain. Run, jump and have fun in the sun.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動及び単元を振り返り、振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード